

2025年度
西神吉小だより

6月

～ 朝会で… ～

6月に入りました。1学期も折り返しです。1日1日を大切に過ごしましょう。
さて、6月の全校朝会では、次のようなお話をしました。

朝会で話したこと

おはようございます。あっという間に6月になりました。これから梅雨の季節になり、じめじめと蒸し暑い日が多くなりますが、体調管理に気を付けて、元気にがんばりましょう。

さて、今回は「大切なこと・にしかんき」の「かん」についてお話します。「かん」は何でしたか？そうです。「かんしゃ」です。では、質問です。感謝の気持ちを誰かに伝えるとき、どんな言葉で伝えますか？浮かんだ言葉を「さん、はい！」の後に、校長先生に届く大きな声で言ってください。一つとは限りません。だから、みんなと違っていても大丈夫です。では、いきますよ。「さん、はい！」

「ありがとう」が聞こえてきました(とっても元気な「ありがとう」が聞こえてきました！すばらしい！)。もし、他の言葉が思い浮かんだ人がいたら、後で校長先生に教えてください。感謝の気持ちを伝える言葉は何かと聞かれたら、ほとんどの人が「ありがとう」が思い浮かびますね。

この「ありがとう」という言葉。元々の意味を知っていますか？『ありがとう』という言葉は仏教の『有り難し』に由来があるのではないかとされています。有り難しとは、文字の通り、「有る」ことが「難しい」という意味です。つまり、めったにないということや貴重であるというのが元々の意味だったそうです。そして、貴重なものや出来事に対して感謝を表す言葉となり、広く使われるようになる中で、「有り難し」から「ありがとう」と変化しました。

そんな「ありがとう」の反対の言葉は何だと思いますか？また、浮かんだ言葉を教えてください。それじゃあ聞きますよ。

「さん、はい！」

ありがとうと違って、すぐに出てこなかったかもしれませんね。実は、ありがとうの反対は『あたりまえ』です。「ありがとう」の元々の意味は、めったにないことや貴重なこと。その反対は、普通のこと、ありふれていること、つまり、「ありがとう」と「あたりまえ」は反対の意味をもつ言葉なのです。

でも、よ～く考えてみると、当たり前のことなんてありません。みんながお家や学校、地域で安全に、楽しく生活ができるのも、家族の支えや地域の方の見守りや先生たちのがんばりがあってのことです。もっと言えば、みんなの知らないところで、遠いところで、知らない人が、みんなの毎日を支えています。だから、たくさんさんの「ありがとう」があるはずですよ。

みんなには、いつも感謝の気持ちを忘れず、「ありがとう」と声に出して言える西神吉っ子になってほしいと校長先生は思っています。先週の金曜日、6年1組のみなさんのステキな「ありがとう」がありました。詳しくは、今度の学校だよりを読んでみてくださいね。

ちなみに、「ありがとう」は英語だと「サンキュー」、中国語は「シェシェ」、フランス語は「メルシー」、スペイン語は「グラシアス」、ドイツ語は「ダンケ」、イタリア語は「グラッチェ」、ポルトガル語は「オブリガード」、ロシア語は「スパシーバ」、韓国語は「カムサハムニダ」と言います。世界には、もっとたくさんさんの言語があるので、まだまだたくさんさんの「ありがとう」がありそうですね。

先月は、マイナスの言葉を減らしてプラスの言葉を増やしていきましょうというお話をしましたが、「ありがとう」がいっぱいの西神吉小学校にいきましょうね。

これで校長先生のお話を終わります。

(この後、岩澤先生から「大切なことは目に見えない」「心の目で見ることが大切」というお話がありました。今、自分にとって本当に大切なこととは何なのか、考えてみましょう。)

西神吉っ子の一コマ

6月2日(月)から6日(金)まで、トライ・やるウィークで、神吉中学校の4名が西神吉小学校に来てくれています。先輩と共に、学びがいっぱいの1週間にしましょう。

6月2日(月)の5、6校時に5年生は歯磨き教室を行いました。何気なくやっている歯磨きですが、それぞれに気が付がたくさんあったことでしょう。

